

2020年6月1日

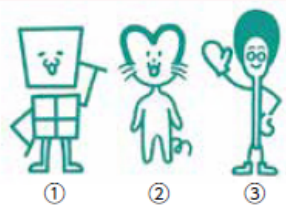
みんなで作る ^{かたち} 未来の場 ¹⁷ 企画政策課 ☎724・2103

“公共施設見直し(再編)キャラクター”
の名前を募集しています



市では、公共施設の老朽化や厳しい財政状況を見通し、必要な公共サービスを将来にわたって維持していくため、公共施設の再編に向けた取り組みを進めています。

公共施設の現状や再編の考え方などを分かりやすくお伝えするため、2月に冊子「みんなのアイデアブック-町田市の公共施設再編について」を発行しました(町田市ホームページでダウンロードも可)。その中で登場した3匹のキャラクターの名前を、現在募集しています。



キャラクター誕生のひみつ

- ① ロボットをよーくみると、漢字の町田(まちだ)になっているよ。
- ② ねこの頭を見てごらん。英語のMachida(まちだ)のMが見えてくるよ。
- ③ まちだの“まち”→まっち→まっちぼう! ダジャレだね。

【応募方法】

① Eメールで応募

応募用紙(町田市ホームページでダウンロード)に記入のうえ、Eメールに添付し、11月14日までに企画政策課 (✉mcity2980@city.machida.tokyo.jp) へ。

※応募用紙を使わずに、Eメールの本文に記載しても構いません。その場合、どのキャラクターの名前が分かるように記載してください。

② 地域のセンターまつりで応募

地域のセンターまつりに、企画政策課が「知ろう! 考えよう! 公共施設のより良いかたち」ブースを出展します。開催日程等の詳細は、町田市ホームページをご覧ください。

※応募用紙は用意しています(自宅で印刷した用紙の持参も可)。

【選考方法】

12月6日(日)に市庁舎で開催予定の市民協働フェスティバル「まちカフェ!」で投票を行い、決定します。結果は2021年3月ごろに町田市ホームページなどで発表します。

公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

ご意見は企画政策課 (✉mcity3270@city.machida.tokyo.jp) で受け付けています。

2020年8月1日号

みんなで作る ^{かたち} 未来の場 ¹⁸ 企画政策課 ☎724・2103

公共施設の複合化に関する
アンケートにご協力ください



2018年6月に策定した「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」に基づき、公共施設の複合化の検討を進めています。

たくさんある公共施設のうち、まずは、多くの老朽化してきた公共施設が点在する町田駅周辺を取り上げ、特に建物が古く、早期に検討が必要な町田市保健所(中町庁舎)と、同じ保健機能である健康福祉会館の集約・建て替えについて考えています。その他の地域の公共施設では、教育センターの建て替えについて考えています。

検討にあたって、皆さんからもアンケート形式でご意見やアイデアを募集していますので、ぜひご協力ください。

回答方法 町田市ホームページの「公共施設についてみんなで考える場『知ろう! 考えよう! 公共施設のより良いかたち』を開催しています」のページ内にあるアンケート専用フォームから回答。

回答期限 12月6日(日)まで

アンケート専用フォームはこちら



公共施設見直し(再編)キャラクター



公共施設再編に関する 「サウンディング型市場調査」を実施します

2018年6月に策定した「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」に基づき、主に町田駅周辺の公共施設を対象とした再編を検討しています。

「公共施設・公共空間のより良いかたち」を実現するとともに、市の財政負担を最小限にすることを目指して、民間事業者の資金や活力を取り入れる可能性を調査するサウンディング型市場調査を公募で実施します。

サウンディング型市場調査とは

民間事業者と市との対話の場です。民間事業者と連携した公共施設の整備・運営方法を検討する際に、案の作成段階で民間事業者から、意見や課題解決に向けた優れた事業提案を受けることなどを目的としています。



実施概要

対象事業①保健施設を含む複合施設の整備②教育センターの建て替え
参加対象利活用の事業実施主体となることが可能な法人または法人のグループ

対話期間10月12日(月)～23日(金)

結果公表12月ごろ

申込期間10月2日(金)まで

※実施要領を公開中です。サウンディング型市場調査の内容の詳細は、町田市ホームページをご覧ください。



公共施設の “ライフサイクルコスト”の縮減

ライフサイクルコストとは、施設の建設から管理、運営、改修そして建て替えまでにかかるトータル費用のことです。

市では公共施設の再編に向けた取り組みを進めていますが、その1つとして、「ライフサイクルコストの縮減」があります。

具体的な取り組み

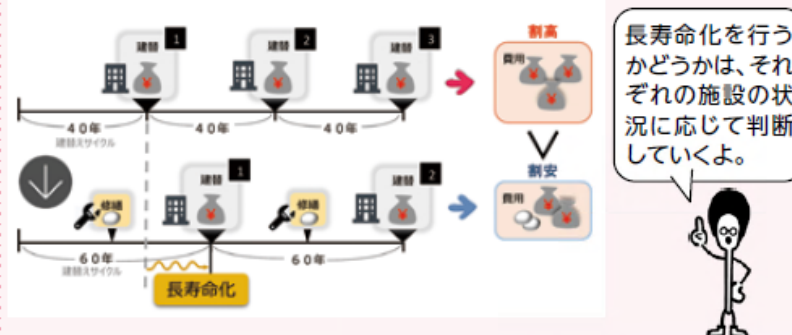
①維持管理費用の削減

施設にかかる費用を長期的にみると、施設の建設費用以上に多額の維持管理費用がかかります。そこで、施設の運営委託方法の見直しや、LED・太陽光などの技術や手法を必要に応じて導入し、削減を図ります。



②施設の長寿命化

長寿命化とは、計画的な維持補修、定期的なメンテナンスやこまめな補修を行い、施設を長く使えるようにすることです。建て替えサイクルを延ばすことができるため、長期的な財政負担の抑制につながります。



公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

ご意見は企画政策課(☎mcity3270@city.machida.tokyo.jp)で受け付けています。





公共施設再編に関する「サウンディング型市場調査」を実施しました

市では、町田駅周辺にある健康福祉会館と保健所中町庁舎の集約・建替えと木曽東にある教育センターの建替えを検討しています。民間事業者とのコラボレーションによる建替えを行うため、民間事業者との対話の場を設けました。実現可能な事業手法や導入可能な民間機能など、さまざまなご意見やアイデアをいただきました。

民間事業者9社からいただいたご意見 一部を紹介!

①健康福祉会館と保健所中町庁舎の集約・建替え

町田市



町田駅周辺にある5か所の公共施設や公共用地のうち、どこに建替えるのがよいですか？

健康福祉会館、保健所中町庁舎の2か所の土地が適しています。

民間事業者



新しい施設と一緒にあるとよい民間機能は何ですか？

医療系機能や子ども関連事業が良いと思います。保健施設との相乗効果が見込まれます。

②教育センターの建替え



建替えにあたって、どのようなコラボレーションが可能ですか？

例えば、教育センターの土地の一部を市から借りて、高齢者向け施設やスーパー等の商業施設を建て、地域の利便性を向上させることが可能です。



教育センターと民間施設が同じ敷地にあると、セキュリティー面に問題が生じますか？

教育センターのセキュリティーや利用者のプライバシー保護のための動線配慮は可能です。



町田市ホームページで実施結果を公開中です。詳細は右記二次元バーコードをご覧ください。



公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

ご意見は企画政策課 (✉mcity3270@city.machida.tokyo.jp) で受け付けています。



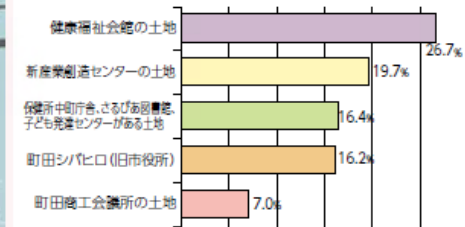
公共施設の複合化に関するアンケート調査を実施しました

市では、町田駅周辺にある健康福祉会館と保健所中町庁舎の集約・建替えと木曽東にある教育センターの建替えを検討しています。市民の皆さんからアンケートでご意見を伺いました。

752人のご意見を一部ご紹介!

①健康福祉会館と保健所中町庁舎の集約・建替え

Q.どの場所に新しい保健施設があれば良いと思いますか(1つ選択)。



②教育センターの建替え

Q.広大な土地の一部を民間に貸し出し、賃借料を建替え資金に充当することについて、どう考えますか。

- ・したほうが良い 47.7%
- ・どちらかといえばしたほうが良い 30.2%
- ・分からない 11.6%
- ・どちらかといえばしないほうが良い 3.2%
- ・しないほうが良い 2.5%
- ・無回答 3.3%
- ・その他 1.5%

皆さんからいただいたご意見を踏まえ、健康福祉会館・保健所中町庁舎と教育センターの建替え方針を策定し、3月に公表する予定です。



公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

ご意見は企画政策課 (✉mcity3270@city.machida.tokyo.jp) で受け付けています。

